火災の被害拡大防止活動に感謝
西置賜行政組合消防長より感謝状を贈呈

8月4日、白鷹町の5名の方に対し消防協力により西置賜行政組合消防長から感謝状が贈呈され、町長に報告されました。

渋谷志郎さんご夫妻は、4月10日発生の火災で、スコップと残雪を用いて初期消火を実施し被害の拡大防止に貢献されました。小林利久さん、佐々木誠司さん、金田勝美さんは、4月27日発生の火災で、消火栓とホースにより初期消火活動を行い被害の拡大防止に貢献されました。

報告会では、佐藤町長より皆さんに感謝の言葉が伝えられました。

左から渋谷夫妻、佐藤町長、小林さん、金田さん、佐々木さん

地域社会の発展と高齢者の活躍の場創出に向けて
長井・西置賜地域シルバー人材センターが要望書を提出

8月4日に公益社団法人長井・西置賜地域シルバー人材センター（今野哲理事長）より、町に対し「地域社会に貢献するシルバー人材センターの新たな決意と支援の要望」が提出されました。

要望書の内容としては、各世代のニーズ・社会課題に対応していくための事業や地元企業への人材派遣等に重点的に取り組む決意のほか、町の補助金の継続やセンターに対する事業発注の確保等の要望などが盛り込まれています。

今野哲理事長より要望書が手渡されました

女性が活躍する町を目指して―
白鷹町女性の会が講演会を開催

7月29日、白鷹町女性の会が講演会を開催し、宮城県蔵王町の女性議員である伊藤雅代さま、今千佳さまからご講演いただきました。

講演では、初の女性議員が誕生したきっかけは女性模擬議会であったことや、現在は女性がいつまでも輝き活躍していける町であるために議員として活動されていることを体験談も交えてお話しいただきました。

講演会の様子

地域の安全安心のために
陸上自衛隊第20普通科連隊が災害派遣訓練を実施

8月26日から28日にかけて、陸上自衛隊第20普通科連隊第4中隊（置賜地域担当部隊）が、スポーツ交流館を拠点に災害派遣訓練を実施しました。

今回の訓練では、災害時に孤立するおそれのある集落の確認や、災害を想定した夜間行進訓練、野外炊事訓練などを行いました。災害発生時に実際活動する現地で訓練を行うことで、素早く救援活動に取りかかることができるようになります。

また、訓練最終日には若鮎マラソン大会のメイン会場である蚕桑小学校で清掃活動を実施していただきました。

炊き出しの様子

全国大会出場の栄光をたたえ 白鷹町成績優秀者激励金の交付（7月交付分）

文化・スポーツ活動において、優秀な成績を収め全国大会へ出場する方々に、町より激励金を交付しました。さらなるご活躍をお祈りします。

氏　名（出場時の所属）	大　会　名　等
須藤ひよりさん（南陽高２年）	第 63 回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会
塩川　紡久さん（鮎貝小２年）	全農杯 2025 年全日本卓球選手権大会（ホープス・カブ・バンビの部）
金田　澪翔さん（蚕桑小４年）	第 41 回若葉カップ全国小学生バドミントン大会
菅間　怜央さん（白鷹中３年）	令和７年度全国中学校体育大会 第 52 回全日本中学校陸上競技選手権大会
竹田　圭吾さん（白鷹中３年）	
髙橋　梨桜さん（白鷹中３年）	
渋谷　倖花さん（白鷹中２年）	令和７年度全国中学校体育大会 第 56 回全国中学校柔道大会

前列の生徒（左から）
髙橋梨桜さん、竹田圭吾さん、菅間怜央さん、渋谷倖花さん

塩川紡久さん

須藤ひよりさん

金田澪翔さん

あれから80年、平和への祈りを絶えず受け継ぐ 白鷹町平和祈念事業

終戦記念日の８月15日、白鷹町役場を会場に、白鷹町平和祈念事業が行われました。

式典には、町関係者など約30人が参列し、過去における戦火により犠牲となられた方へ黙祷が捧げられました。

続いて、町民を代表して、鈴木大和（すずきやまと）さん（荒砥乙）と五十嵐陽香（いがらしはるか）さん（荒砥甲）が平和都市宣言を朗読。その後、佐藤町長と菅原議会議長が平和へのメッセージを述べ、献花・折鶴献呈が行われました。

今年は、太平洋戦争が終戦を迎えて80年を迎えた節目の年。改めて平和がいつまでも続くようにと祈りを捧げました。

恒久の平和を願いながら献花を行いました

中国との交流拡大に向けて— スポーツ国際交流に関する協定を締結

町は、中国の国際生涯スポーツ研究会と「スポーツ国際交流に関する協定」を締結しました。

中国とは、東京２０２０オリンピックを契機に、ソフトボール競技におけるホストタウンとしてさまざまな交流を行い、その後も中国のスポーツ少年団を招いてのスポーツ交流事業等を行ってきました。本協定は、今後も引き続き子どもたちをはじめとするスポーツや文化等の国際交流事業を推進するため、相互の情報共有と連携を積極的に行うことを目的とするものです。

締結式の様子